

先進地を学んで生かす

テーマ 定住促進連携事業

課題 (1) 飛騨地域定住促進連携事業について
(2) 白川村消防団活動について

視察地 岐阜県高山市・白川村

総務常任
委員会

9月26日~27日

定住促進連携事業取組み調査

所管事務調査

については、国際観光旅行博への出展などの促進を図っている。

では、地域の消防防災体制の充実強化が図られています。

少年消防クラブ、幼年消防クラブがありません。



高山市役所視察

飛騨地域定住促進連携事業

「高山市」

視察目的

飛騨地域3市1村（高山市、飛騨市、下呂市、白川村）の連携により地域的、歴史的、文化的、経済的に結びつきの強い地域によって外国人観光客の受け入れ体制強化事業や移住、定住促進事業を調査しました。

視察報告

インバウンド観光誘客

特に、体験移住や各種イベントなど画期的な発案で行っています。

視察報告

合掌造りの家屋を守るため固定式の放水銃が、家屋一軒に一基設置されています。

白川村消防団活動

「白川村」

視察目的

白川村の人口16000人に対して消防団員数が約1割近い135名と高い消防団加入率で防災意識の高まりがうかがえる。

特に世界文化遺産の合掌造り集落の防災に関し



白川村役場視察



放水訓練の様子



白川郷の固定式放水銃